

こんにちは
えほん

もっと



小学校へあがる前のお子さんに読んであげたい絵本

掛川市立図書館

絵本で楽しいひとときを、もっと。

子育てに絵本をとりいれている家庭が増えています。

赤ちゃんから幼児へと成長するこの時期、こどもたちはいろいろなことを経験し、知識やことばも、どんどん増えてきます。

興味のあること、好きなものもひとりひとり個性が出てくる今こそ、家庭でのよみきかせが力を発揮します。

何度も同じ本を「読んで」と言われたら、満足するまで読んであげてください。

お気に入りのページや、気になる絵などがあったら、そこでじーっとながめてみてください。お子さんのペースで楽しめるのが、家庭でのよみきかせのよいところです。

お子さんの顔を見ながら、ぜひいっしょに楽しんでください。

大好きな人に読んでもらった絵本の記憶はきっと、こどもたちの大切なたからものになるでしょう。

日本のおはなし



『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』

長谷川義史

BL出版 Eハ

「おじいちゃんのおじいちゃんは、どんなひと？」5歳の男の子の素朴な質問から、時がどんどんさかのぼります。おじいちゃんからおじいちゃんへ、そのまたおじいちゃんへ…。



『おふろだいすき』

松岡享子／作

林明子／絵

福音館書店 Eハ

男の子がお風呂に入っていると、突然お湯の中から大きなカメやペンギン、アシカが出てきて…。お風呂で繰り上げられる子どもの空想の世界を描きます。



『かばくん』

岸田衿子／さく

中谷千代子／え

福音館書店 Eナ

日曜日、寝ぼすけかばくんのもとに、子どもたちがやってきます。男の子に連れられて、かめくんもやってきました。かばくんの一日を、簡潔でリズムカルな言葉と、存在感ある美しい絵で描く絵本です。



『からすのパン屋さん』

かこさとし

偕成社 Eカ

いずみが森のからすのパン屋さんが、おいしい、すてきなパンをどっさり焼きました。おかげで、店先で大騒動が起こります。ユニークなパンがたくさん並ぶので、じっくり絵を見せてあげたい絵本です。

日本のおはなし



『キャベツくん』

長新太／文・絵
文研出版 エチ

ライオンがキャベツを食べると、どうなるのかな？じゃあクジラがキャベツを食べると？キャベツくんとブタヤマさんの会話が楽しい、ナンセンス絵本。



『きょだいなきょだいな』

長谷川摂子／作
降矢なな／絵
福音館書店 エフ

広い野原の真ん中に、巨大なピアノがあったとき、そこへ子どもが100人やってきて…。リズムカルな言葉も楽しい、次々に巨大なものが出てくるおはなしです。



『ぐりとぐら』

なかがわりえこ と
おおむらゆりこ
福音館書店 エオ

シリーズ

お料理することと食べることが大好きな、のねずみのぐりとぐら。ある日、森の奥で、大きなたまごを見つけました。大きなカステラを焼こうと思ったのですが、たまごを運ぶことができなくて…。



『ぐるんぱのようちえん』

西内ミナミ／さく
堀内誠一／え
福音館書店 エホ

ずっとひとりぼっちで暮らしてきた、大きなぞうのぐるんぱが、働きに行くことになりました。ところが、行く先々で、大きなものばかりつくって失敗ばかり。でも、最後につくった幼稚園は大成功します。

日本のおはなし



『11匹のねこ』

馬場のぼる
こぐま社 Eハ

シリーズ

いつも、おなかがぺこぺこの、のらねこたちは、山のずっと向こうの湖で、大格闘の末、怪物のように大きな魚をつかまえました。みんなに見せるまでは食べないと約束したのに…。



『14匹のおつきみ』

いわむらかずお
童心社 Eイ

シリーズ

森で暮らす14匹のねずみの家族。小さなくちゃんたちが、高い木の上に組み立てているのは、お月見をするための台。やがて日が落ち、夜になると…。



『しょうぼうじどうしゃじぶた』

渡辺茂男／さく
山本忠敬／え
福音館書店 Eヤ

消防署のすみっこにいる、古いジープを改良したちびっこ消防車のじぶた。じぶたは小さくて、みんなから相手にされません。ある日、そんなじぶたに大仕事がやってきて…。小さなじぶたが大活躍する、乗り物絵本です。



『そらいろのたね』

ながわりえこ と
おおむらゆりこ
福音館書店 Eオ

ゆうじは、宝物の模型飛行機を、きつねの宝物「そらいろのたね」と交換しました。家に帰って、たねを庭にまくと、なんと、そらいろの家がはえてきました。水をかけると、家はどんどん大きくなって…。

日本のおはなし



『そらまめくんのベッド』

なかやみわ／さく・え

福音館書店 エナ

シリーズ

そらまめくんの宝物はベッド。雲のようにフワフワで、わたのようにやわらかい。えだまめくんたちがうらやましがりますが、ぜったいに使わせようとしません。ところが、そのベッドがなくなってしまう…。



『だるまちゃんとてんぐちゃん』

加古里子／さく・え

福音館書店 エカ

シリーズ

うちわに帽子、はきもの、長い鼻。だるまちゃんは、てんぐちゃんの持ち物がうらやましくてたまりません。そこで、だるまちゃんは、「ほしいよう」とお父さんをお願いします。



『タンタンのぼうし』

いわむらかずお

偕成社 エイ

シリーズ

タンタンの大好きなぼうしは、ゆかいなぼうし。くるくるまわるし、ころころころがるし、ひゅっとなげるとバタもつかまる。タンタンの表情も豊かな楽しい絵本です。



『ちいさなねこ』

石井桃子／さく

横内襄／え

福音館書店 エヨ

お母さんねこが見ていない間に、部屋から抜け出した小さなねこ。子どもにつかまったり、自動車の前に飛び出してひかれそうになったり、大きなぬいに追いかけられたり。危機一髪のところで助けてくれたのは…。

日本のおはなし



『でこちゃん』

つちだのぶこ
PHP研究所 Eツ

日曜日、お母さんに髪の毛を切ってもらったでこちゃん。前髪がとっても短かいので、みんなに「でこちゃん」と笑われてしまいます。あした幼稚園に行くまでに、おでこが直ってればいいけれど…。



『でんしゃにのって』

とよたかずひこ
アリス館 Eト

シリーズ

うららちゃんは、ひとりで電車に乗って、おばあちゃんのところへでかけます。その電車には、ワニさんやクマさん、ゾウさんたちが、次々と乗りこんできて…。



『どうぞのいす』

香山美子／作
柿本幸造／絵
ひさかたチャイルド
Eカ

うさぎさんが小さないすを作り「どうぞのいす」という立て札と一緒に立てました。ある日ろばさんが、どんぐりの入ったかごを置いて昼寝をしているうちに…。心があたたかくなる秋のおはなし。



『とりかえっこ』

さとうわきこ／作
二俣英五郎／絵
ポプラ社 Eフ

あそびにでかけたひよこが、会った動物たちと鳴き声をと리카えっこします。ねずみさんととりかえっこして「ちゅうちゅう」、ぶたさんととりかえっこして「ぶうぶう」。最後にもらった鳴き声は…。

日本のおはなし



『なにをたべてきたの?』

岸田衿子／文
長野博一／絵
佼成出版社 エナ

おなかのすいた、しろぶたくんが、くだものをまるごと食べていきます。りんごを食べると、からだの一部が赤く染まり…。



『ねずみくんのチョコッキ』

なかえよしを／作
上野紀子／絵
ポプラ社 エウ

シリーズ

ねずみくんのお母さんが編んでくれたチョコッキを、さるやライオンたちが次々に「いいチョコッキだね。ちょっと着せてよ」と着ていくと、チョコッキはだんだん伸びていって…。



『はけたよはけたよ』

かんざわとしこ／ぶん
にしまさかやこ／え
偕成社 エ二

ひとりでパンツがはけない、たつくん。おしりを出したまま外へかけだしたら、動物たちが集まってきて、たつくんのおしりをじろじろ。たつくんが考えたいい方法とは？



『はじめてのおつかい』

筒井頼子／さく
林明子／え
福音館書店 エハ

今まで、ひとりででかけたことがなかったみいちゃんが、はじめてひとりでおつかいをする様子を描いた絵本。裏表紙までおはなしが続いています。

日本のおはなし



『まどから☆おくりもの』

五味太郎／作・絵
偕成社 エコ

クリスマスの夜、窓をのぞいて、みんなにぴったりの贈り物を届けるサンタさん。穴あきのしかけも楽しいクリスマス絵本です。



『よるくま』

酒井駒子
偕成社 エサ

夜中にやってきたくまの子、よるくまと、くまのお母さんを探しに行った男の子。あちこち探したけど見つからない。ついによるくまが泣き出しちゃった、その時、流れ星が…!



『わたしのワンピース』

にしまきかやこ／えとぶん
こぐま社 エ二

うさぎさんがワンピースをつくりました。お花畑を散歩すると、ワンピースが花模様に、雨が降ってきたら水玉模様に…。次々とワンピースの柄が変わります。



『わにわにのおふろ』

小風さち／ぶん
山口マオ／え
福音館書店 エヤ

シリーズ

わにわには、お風呂が大好き。「じょうろーん」と飛び込みます。「きゅるきゅるり」「ぼくんぶくん」、言葉も楽しい、木版画で描かれた絵本です。

外国のおはなし



『あおくんときいろちゃん』

レオ・レオーニ／作
藤田圭雄／訳
至光社 エレ

あおくんときいろちゃんは、一番のなかよし。ぱったり会って、うれしくてくっついているうちに、みどりになってしまいました。たくさん遊んで家に帰ると、パパとママはみどり色のあおくん、きいろちゃんがわかりません。



『アンガスとあひる』

マージョリー・フラック／さく・え
瀬田貞二／やく
福音館書店 エフ

シリーズ

アンガスは、知りたがりやのこいぬです。なかでも一番知りたがったのは、庭の生垣の向こうから聞こえてくる鳴き声です。ある日、鳴き声の主、あひるたちを見つけると…。



『いいこってどんなこ?』

ジーン・モデシット／文
ロビン・スポート／絵
もきかずこ／訳
富山房 エス

「ねえ、おかあさん、いいこってどんなこ？」うさぎのパニーぼうやがたずねました。「なかなかいいこなの」「おこりんぼはいいこじゃないよね…」ぼうやの質問に、お母さんはやさしく答えます。



『おちやのじかんにきたとら』

ジュディス・カー／作
晴海耕平／訳
童話館出版 エカ

ソフィーとお母さんがお茶にしようとしたその時、玄関のベルが鳴りました。ドアをあけると、大きなトラがいました。お茶をごちそうになりに来たのです。ところが、トラは家中の食べものを食べてしまい…。

外国のおはなし



『お月さまってどんなあじ?』

マイケル・グレイニエツ／絵と文
いずみちほこ／訳
らんか社 エク

お月さまって、どんなあじなんだろう。
あまいのかな。しょっぱいのかな。ある日、小さなカメが、一番高い山にのぼって、お月さまをかじってみようと、決心しました。



『おやすみなさいおつきさま』

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく
クレメント・ハード／え
せたていじ／やく
評論社 Eハ

居心地のいい部屋で、ベットに入っているうさぎが、いろいろなものに「おやすみなさい」のあいさつをして、眠りにつくおはなし。だんだんと暗くなっていく部屋の変化が面白い絵本です。



『おやすみなさいフランシス』

ラッセル・ホーバン／ぶん
ガース・ウィリアムズ／え
まつおかきょうこ／やく
福音館書店 Eウ

フランシスの寝る時間になりました。お父さんにおんぶしてもらって、おやすみなさいのキスをして、「おやすみ」と言ってもらって…。でも、フランシスはちょっと眠くなりません。



モーリス・センダック さく じんぐうてるおやく

『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック／さく
じんぐうてるお／やく
富山房 Eセ

いたずらっ子のマックスが、寝室にほうりこまれると、にょきりにょきりと木が生えだして、あたりはすっかり森の中。いつの間にかたどりついたのは、かいじゅうたちのいるところでした。

外国のおはなし



『くまのコールテンくん』

ドン=フリーマン／さく
まつおかきょうこ／やく
偕成社 エフ

くまのぬいぐるみ、コールテンくんは、自分を気に入ってくれた女の子に買ってもらうため、失くしてしまったズボンのボタンを探しにでかけます。デパートの中で大冒険が楽しいおはなしです。



『ガンピーさんのふなあそび』

ジョン・バーニングガム／さく
みつよしなつや／やく
ほるぷ出版 エハ

ガンピーさんが小舟ででかけると、途中で子どもたち、うさぎ、ねこ、ぶたなど、様々な動物たちが次々に乗り込みます。さて、みんなは仲良く乗っていることができるでしょうか。ほかに、『ガンピーさんのドライブ』があります。



『すてきな三にんぐみ』

トミー=ウンゲラー／さく
いまえよしとも／やく
偕成社 エウ

黒マントに黒ぼうしの三人組は、宝あつめに夢中のどろぼうです。ある日、さらってきた女の子に、宝の使い道を聞かれて、すてきなことを思いつきます。



『ちいさなヒッポ』

マーシャ=ブラウン／さく
うちだりさこ／やく
偕成社 エフ

子どものかばのヒッポは、お母さんにかばの言葉を教わります。その後ヒッポは最大のピンチを迎えますが、ちゃんと大きな声を出せるでしょうか。美しい版画が印象的な絵本です。

外国のおはなし



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく
いわたみみ／やく
ほるぷ出版 エホ

おとうさんも、おかあさんも、森のすべての動物たちが、ちびゴリラのちびちびを大好きでした。ちびちびはみんなから愛されて、どんどん大きくなりました。



『ティッチ』

パット・ハッチンス／さく・え
いしいももこ／やく
福音館書店 エハ

シリーズ

ティッチは小さな男の子。兄さんと姉さんは、なんでもティッチより立派なものを持っています。けれども、兄さんの大きなシャベルで、姉さんの大きな植木鉢に、ティッチの小さなたねを植えると…。



『どれがぼくかわかる?』

カーラ・カスキ／ぶん・え
よだしずか／やく
偕成社 エカ

「ね、おかあさん、もしもぼくがみんなのなかにいたら、どれがぼくかわかる？」馬になったら？スカンクになったら…？ウィリアムの問いかけに、おかあさんは自信たっぷりに「わかるわ」と答えます。



『どろんここぶた』

アーノルド・ローベル／作
岸田衿子／訳
文化出版局 エロ

おひゃくしょうさんのうちのこぶたは、やわらかーいどろんこのなかに沈むのが大好き。けれどもある日、おばさんが家を大そうじ。こぶたの大好きなどろんこがなくなってしまいました…。

外国のおはなし



『どろんこハリー』

ジーン・ジオン／ぶん
マーガレット・ブロイ・グレアム／え
わたなべしげお／やく
福音館書店 エク

シリーズ

黒いぶちのある白いぬい、ハリーは、お風呂が大嫌い。お風呂にお湯を入れる音が聞こえてくると、ブラシをくわえて逃げ出して…。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん
マーク・サイモント／え
きじまはじめ／やく
福音館書店 エサ

雪の中で眠っていた動物たちが目を覚まし、はなをくんくん。寝床から飛び出して見つけたものは…。小さな春の訪れを喜ぶおはなし。



『ピーターのいす』

エズラ・ジャック・キーツ／さく
きじまはじめ／やく
偕成社 エキ

シリーズ

ピーターの家には、生まれたばかりの妹がいます。ピーターのものだったゆりかごや食堂いすは、ピンク色に塗られてしまいました。小さないすだけは塗られないように、家出することにしたピーターですが…。



『ピッツアぼうや』

ウィリアム・スタイグ／作
木坂涼／訳
らんか社 エス

お父さんは、元気のないピートを生地に見立てて、ピッツア作りを始めます。まずは生地をこねるところから…。親子のあたたかいふれあいが描かれた絵本です。

外国のおはなし



『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え
まさきりこ／やく
福音館書店 エエ

紙のぼうしをかぶり、ラッパを持った男の子が、森へ散歩にでかけます。すると、動物たちが次々についてきて…。モノトーンの絵が味わい深い絵本です。



『よかったねネットくん』

レミー・シャーリップ／ぶん・え
やぎたよしこ／やく
偕成社 エシ

びっくりパーティーに招待されたネットくん。しかし、ネットくんの行く手をはばむ出来事が、次々と起こります。ハラハラドキドキが繰り返される楽しい絵本です。



『ラチとらいおん』

マレーク・ベロニカ／ぶん・え
とくながやすもと／やく
福音館書店 エハ

弱虫の男の子、ラチのもとに、小さいらいおんがやってきました。らいおんに鍛えられて強くなったラチは、友達を助けることに成功しますが、そのときらいおんは…。



『わたしとあそんで』

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え
よだじゅんいち／やく
福音館書店 エエ

はらっぱにでかけた女の子が、生きものたちに「あそびましょ」と声をかけますが、誰も遊んでくれません。そこで池のそばでじっとしていると、今度は生きものたちのほうから近づいてきて…。

むかしばなし



『いっすんぼうし』

いしいももこ／ぶん
あきのふく／え
福音館書店 Eア

子どものいないおじいさんとおばあさんが授かったのは、親指ほどの小さな男の子。いっすんぼうしと名付けられた男の子は、元気に育ちましたが、いつまでたっても大きくなりません。ある日、いっすんぼうしは、おわんと箸と針を持って、都へと旅立つことに…。



『おおかみと七ひきのこやぎ』

グリム童話
フェリクス・ホフマン／え
せたていじ／やく
福音館書店 Eホ

ある日、森へ食べ物を探しに行くことにしたお母さんやぎは、七ひきのこやぎたちに言いました。「おおかみにくぐれも気をつけておくれ」。お母さんがでかけると、さっそく、おおかみがやってきて…。



『おだんごばん』

ロシア民話
せたていじ／やく
わきたかず／え
福音館書店 Eワ

かまどから飛び出したおだんごばんは、おじいさん、おばあさん、動物たちからうまく逃れてころろ転がって行きますが…。



『3びきのくま』

トルストイ／文
バスネツォフ／絵
おがさわらとよき／訳
福音館書店 Eワ

森に遊びに行って、道に迷った女の子。森の中に小さな家を見つけました。だれもいない家の中へ女の子が入ってみると、スープの入ったおわんと、ベッドが三つずつありました…。

むかしばなし



『三びきのこぶた』

イギリス昔話

瀬田貞二／訳

山田三郎／画

福音館書店 エヤ

お母さんから、ひとりだちするように
言われた三匹のこぶたたち。それぞれ、
わら、枝、レンガで家を建てました。
そこへおおかみがやってきて…。



『だいくとおにろく』

松居直／再話

赤羽末吉／画

福音館書店 エア

むかしむかし、とても流れのはやい川
に、橋をかけることになった大工。あ
まりの難題に悩んでいると、川の中か
ら鬼があらわれて…。



『にんじんさんがあかいわけ』

松谷みよ子／ぶん

ひらやまえいぞう／え

童心社 エヒ

にんじんが赤くて、だいこんが白くて、
ごぼうが黒いのはなぜでしょう？むか
しむかし、三人でお風呂に入ってね…。



『ももたろう』

松居直／文

赤羽末吉／画

福音館書店 エア

おばあさんが川で洗濯をしていると、
大きな桃が流れてきました。中から生
まれた男の子は、ももたろうと名付け
られ、立派に成長し…。力強い絵と文
章で描かれた長く読みつがれている絵
本。

ちしき・かがく



『からだのなかで ドゥンドゥンドゥン』

木坂涼／ぶん
あべ弘士／え
福音館書店 エア

きいてごらん、音がする からだのなか
でドゥンドゥン…。心臓の音で、生きて
いる喜びを感じる絵本。



『しろいかみのサーカス』

たにうちつねお／さく
いちかわかつひろ／しゃしん
福音館書店 エイ

一枚の白い紙。折ったり、切ったり、
丸めたり。すると…。紙の性質を利用
して楽しく遊べる写真絵本。



『どろだんご』

たなかよしゆき／ぶん
のさかゆうさく／え
福音館書店 エノ

「どろだんごつくろ すいかみたいで
でっかいの だんごむしみたいにちっ
ちゃいの…」どろあそびの体験と合わ
せて読んであげたい絵本。



『ぼく、だんごむし』

得田之久／ぶん
たかはしきよし／え
福音館書店 エタ

「ぼくはだんごむし。ぼくたちはね
…」だんごむしが、だんごむしのこと
をたっぷり教えてくれる科学絵本。

ちしき・かがく



『まえむき よこむき うしろむき』

鈴木まもる／作・絵
金の星社 エス

ねこさんの「まえむき よこむき うしろむき」は、こんな感じ。いぬくんは？いろいろな人や動物、ものを、前、横、後ろから見てみる絵本。



『まほうのコップ』

藤田千枝／原案
川島敏生／写真
長谷川摂子／文
福音館書店 エカ

たねもしかけもない、ただのコップにただの水。これが魔法のコップ。コップの後ろにものをおくと、不思議なことが起こります。



『みんなうんち』

五味太郎／さく
福音館書店 エコ

大きいゾウは大きいうんち。小さいネズミは小さいうんち。生きものは食べるから、みんなうんちをするんだね。わかりやすい絵と言葉で描かれた科学への入り口になる絵本。



『わたし』

谷川俊太郎／ぶん
長新太／え
福音館書店 エチ

わたし。赤ちゃんから見るとお姉ちゃん。お兄ちゃんから見ると妹。相手によって自分の立場が変わる。そんな不思議に気づかせてくれる絵本。

ことば・うた・あそび



『あかちゃんとお母さんの あそびうたえほん』

小林衛己子／編
大島妙子／絵
のら書店 384.5 ア

お父さん、お母さんが、赤ちゃんと一緒に遊ぶ手遊び、顔遊び、体遊びをわかりやすい絵で紹介する本。赤ちゃんとのスキンシップにおすすめです。



『あっちゃんあがつく』

みねよう／げんあん
さいとうしのぶ／さく
リーブル エサ

「あっちゃん あがつく あいすくリーむ」「いっちゃん いがつく…」おいしい食べ物いっぱい、の、あいうえお絵本。



『うたえほん(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)』

つちだよしはる／え
グランママ社 エツ

「ゆりかごのうた」「うさぎとかめ」「さくらさくら」など、子どもに歌ってあげたいたくさんの歌を、愛らしい絵とともに紹介しています。簡単な楽譜付き。

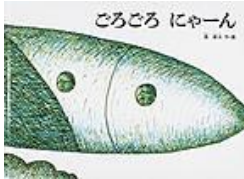


『おしくら・まんじゅう』

かがくいひろし／さく
ブロンズ新社 エカ

紅白のまんじゅうが、なかまたちとおしくらまんじゅう。おしくらこんにゃく、おしくらなっとう…。言葉が楽しいナンセンス絵本。

ことば・うた・あそび



『ゴロゴロにゃーん』

長新太／作・画
福音館書店 エチ

飛行機はゴロゴロ、ねこたちはにゃーんにゃーん。ねこたちをのせた飛行機はゴロゴロにゃーんと飛んでいきます。繰り返しが楽しい絵本。



『ぼぼぼぼぼ』

五味太郎
偕成社 Eコ

お母さん機関車が、子ども客車をひいて走ります。野原ではぼぼぼぼぼ、坂にかかるとぼぼぼぼぼ…。擬音語と擬態語だけで語られる絵本。



『もけらもけら』

山下洋輔／ぶん
元永定正／え
中辻悦子／構成
福音館書店 Eモ

「もけら もけら でけ でけ…」、意味のありそうでなさそうな言葉が続く楽しい絵本。リズムに乗って読んでみてください。



『やさいのおなか』

きうちかつ／さく・え
福音館書店 Eキ

これなあに？これはねぎのおなか。野菜の断面図から、どんな野菜かを考える絵本。

おうちの方へ



『みんな、絵本から』

柳田邦男／著
石井麻木／写真
講談社 019.5 ヤ



『わが子をひざに パパが読む絵本50選』

桑原聡／著
講談社 019.5 ク



『絵本があればだいじょうぶ!』

浜島代志子／著
じゃこめてい出版
599.8 ハ



『絵本の本』

中村粧子／著
福音館書店 019.5 ナ

中央図書館

【児童室 おはなしのへや】

えほんのへや

★
毎月 第1・2金曜日 10:30～

赤ちゃんから4歳くらいまでのお子さんと、お母さんを対象に絵本のよみきかせと手遊びを行っています。

おはなしじゅうたん

毎月 第2・4土曜日 15:00～

幼児から小学校低学年くらいまでのおはなし会です。

絵本のよみきかせと簡単な工作をします。

え(ほ)んむすび

毎月第3金曜日 10:30～

テーマに沿った本を紹介します。「子どもにどんな本を読んでもあげたらいいのかな？」と思っている大人向けです。

大東図書館

【一階 おはなしのへや】

おはなしたまご

★
毎月第1・2金曜日 10:30～

赤ちゃんから4歳くらいまでのお子さんと、お母さんを対象に絵本のよみきかせと手遊びを行っています。

おはなしたまてばこ

毎月 第1・3土曜日 10:30～

幼児から小学校低学年くらいまでのおはなし会です。絵本のよみきかせと簡単な工作をします。

大須賀図書館

【一階 絵本のへや】

おはなしバス

★
毎月 第3・4金曜日 10:30～

赤ちゃんから4歳くらいまでのお子さんと、お母さんを対象に絵本のよみきかせと手遊びを行っています。

おはなしきしゃぽっぽ

毎月 第2・4土曜日 15:00～

幼児から小学校低学年くらいまでのおはなし会です。絵本のよみきかせと簡単な工作をします。

★印の日は、子育てコンシェルジュさんの子育て相談があります。

赤ちゃんから図書館の利用者カードが作れます

【図書館で本を借りるには】

- 利用者カードが必要です。
 - ・ 「利用者登録申請書」に必要事項を記入してください。
 - ・ 氏名・住所・生年月日が確認できるもの（運転免許証・保険証など）をお見せください。
- 掛川市に住んでいる方・お勤めまたは通学している方はどなたでもカードが作れます。
- 図書館の資料は無料で利用できます。
- インターネットで市内3館の資料の検索、予約ができます。
ホームページアドレス
<http://library.city.kakegawa.shizuoka.jp/>

掛川市立中央図書館

〒436-0079 掛川市掛川 1148-1
TEL 0537-24-5921
FAX 0537-23-6183



掛川市立大東図書館

〒437-1421 掛川市大坂 7152
TEL 0537-72-1143
FAX 0537-72-1144

掛川市立大須賀図書館

〒437-1304 掛川市西大渕 63-2
TEL 0537-48-5269
FAX 0537-48-5278

こんにちは えほん
もっと

平成 28 年 4 月 初版
平成 30 年 4 月 改訂版
掛川市立図書館
編集・発行